

(別記様式3)

熊野灘臨海公園事業計画書の要旨

申請者名	紀伊長島レクリエーション都市開発株式会社						
公園管理の方針	安全・安心と利用者ファースト（目線と目的）の管理を心がけ、利用者要望による運営改善等にも努める。また集客戦略においては、当社独自また当社グループ、或いは地域と連携のもと、PDCAによる実践を行い、利用者の増進と地域振興の寄与につなげる。特に、当公園は観光誘客目的もあり、官民連携を更に推進し、地域発展などにも努めてゆく。						
適切な管理の確保	当公園は、熊野灘を前にした、「青」と「緑」の自然溢れる海洋・海浜型公園となる。また広大な4つのエリアに分かれ、それぞれ利用者や利用用途の違いなどもある。これらを鑑み、安全・安心を全てに優先しながら、植物・清掃・保守・巡視・その他コンプライアンスに基づいた継続的且つ適切な管理を実践してゆく。						
効用の発揮、県民サービスの向上	コロナ禍により、野外活動の有効性や必要性が明確となってきた。それらの環境を有する当公園の海・山などの自然環境を更に活かし、自然とのふれあいや育む展開を更に推進し、県民が活力ある余暇や健康志向などで過ごしていただく「場と場面」創りを積極的に、地域や地域行政とも連携し進めてゆく。						
管理の効率化	当社の経営指針の「安全・安心は全てに優先する」については、しっかりと管理を引き続き実践してゆくが、その他の種々管理においては、常々無駄や不経済等を意識し改善などを社内協議し、改善などを実施してゆく。またそれら効率化を実践している他社・他所事例などの情報収集にも努めてゆく。						
人員及び実施体制について	人件費効率を念頭に、スタッフにおいてはマルチジョブ(マルチタスク)にて、最低限な常勤スタッフにて管理運営を推進してゆく。繁忙期においては、地元臨時スタッフの採用、専門業務においてはできる限り信頼もできる地元専門業者を活用し、地域経済・活性化に寄与を行う。						
収支計画書 <span style="float: right;">単位：千円</span>							
	年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
	収入計	61,211	61,211	61,211	61,211	61,211	306,055
内訳	指定管理料	61,201	61,201	61,201	61,201	61,201	306,005
	利用料収入	10	10	10	10	10	50
	支出計	61,211	61,211	61,211	61,211	61,211	306,055